福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称:株式会社 マスネットワーク 所在地:長野県松本市中条 1-14 評価実施期間:29 年 8 月 1 日~30 年 2 月 20 日 評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 060802 061112 061032 050231

2 福祉サービス事業者情報(平成30年2月現在)

事業所名:社	土会福祉法人ジェイエー長野会		種別:介護福祉施設	
(施設名) 特別養護老人ホーム のべやま		併言	併設短期入所生活介護	
代表者氏名:春原秀利		÷	字号(利用人物)。 00夕	
(管理者氏名)			上,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	
設置主体:社会福祉法人ジェイエー長野会			设(指定)年月日 ;	
経営主体:社会福祉法人ジェイエー長野会			昭和・平成 11 年 4 月 1 日	
所在地: 〒384-1305				
長野県南佐久郡南牧村野辺山 65-3				
電話番号:0267-91-1155		FAX 番号: 0267-98-5188		
ホームページアドレス: http://www.ja-naganokai.or.jp/facilities/nobeyama/				
職員数	常勤職員:58名 非常		常勤職員 4名	
	(専門職の名称) 34名			
専門職員				
施設・設備	(居室数) 52	(設備等)		
の概要				
(管理者氏名 設置主体:対 長野主体:対 長野番号:02 木 電話ム 戦 専門職員 施設・設備	は 会福祉法人ジェイエー長野会 会福祉法人ジェイエー長野会 34-1305 郡南牧村野辺山 65-3 267-91-1155 ジアドレス:http://www.ja-naganokai.o 常勤職員:58名 (専門職の名称) 34名	用i FAX . jp/fac 非常勤晴	昭和・平成 11 年 4 月 【番号:0267-98-5188 ilities/nobeyama/ 践員 4名	

3 理念·基本方針

豊かな自然に恵まれた八ヶ岳山麓にたつ「介護老人福祉施設のべやま」は利用者一人ひとりの心を大切にし、地域・家族の方々と共に安心して過ごせる施設をめざします。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

職員は、施設理念に基づき、以前から介護保険の原理である個々の気持ちを大事にすることを優先し、利用者様と日々向き合って介護業務を行っています。今後も、利用者様の笑顔が絶えない安心して過ごせる施設・利用者様やご家族から選ばれる施設を目指し職員一同より質の高いサービスの提供ができるよう努めてまいります。

5 第三者評価の受審状況

受審回数(前回の受審時期) 4回(平成26年度)

6 評価結果総評(利用者調査結果を含む。)

◇特に良いと思う点

<職員間のコミュニケーションの良さ>

職員は、人材不足の介護課題がある中でも、職員同士協力し合いケアに取り組んでいる様子がうかがえる。職員間のコミュニケーションの良さは、利用者との関係にもよい影響を及ぼし、地域の言葉を使いながらも尊厳を傷つけず、かつて住んだ地域で生活しているかのような環境づくりを心掛けている。

<地域特性による住民ニーズを主体とした施設運営>

地域特性から、近隣町村との共同のもと、JAグループだからこそ展開できる地域の高齢化等への対応の要となる施設である。そして、第三者委員に地域の民生委員の委嘱しており、地域のニーズ把握していくうえで家庭の環境や地域の特徴を知る関わりにつながる。この地域に何を還元し、何を求められているのか今後の施設経営、発展のよい機会につながると思われる。

<利用者主体としたケアの取組み>

施設の事業計画、目標に「利用者の尊厳、自分らしく生き生き暮らすことができる生活支援」が掲げられ個別の支援に取り組む姿勢が明示されている。それに向け、介護労働環境改善の実態調査を行い現状把握の理解を行い、課題に向けた取り組みをケア場面に反映し改善に努めている。更に「介護する人・される人、どちらも優しい介護実践」への研修効果として職員への意思統一への努力も感じられ、施設の様々なマニュアルの見直しや人材育成の模索などからも感じ取ることができる。施設が向かうべき方向性に向け今後更なる期待ができる。

◇改善が求められる点

<職員の育成への取り組み>

当施設の職員は、介護の仕事にやりがいを感じ、この先「何を学習し介護職としての広がり、専門性をどのように深めていくか等、意欲的な意見も多く聞かれる。施設は、若い人材をどのように育成し、将来に向けた施設を担う職員教育が今後の大きな課題と考えられる。そのため、適切な目標管理シートの活用、職種、職階別、接遇等、法人と協力し合いながら教育体系の見直しと取り組みに期待したい。さらに、職員の考え、何を望んでいるかの更なる具体的な把握のため、面接の在り方の検討や施設長との面談、職員との会話など含め様々な角度からの取り組みに期待したい。

<ボランティア受け入れ>

ボランティアの受け入れ活動がこの地域定期、不定期で行われている。また、地域交流地域支援として、地元の小学校中学校とも交流がある。ことに中学校では福祉体験学習として受け入れている。単にボランティア受け入れという形ではなく福祉体験学習マニュアル等福祉人材育成の素地づくりの作成に期待したい。

- 7 事業評価の結果(詳細)と講評 共通項目(別添1) 内容評価項目(別添2)
- 8 利用者調査の結果 聞き取り方式の場合(別添3-2)
- 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

平成 30 年 2 月 28 日記載

第三者評価の報告会にて、施設が取り組んでいる事が、監督職及び上級職員全員が理解しているものと考えていたが、評価調査での結果の数値で、理解できていないことが分かった、また、一般職員にも理解してもらうように、全体会議などで施設の取り組みを周知していきたい。

社会福祉法人ジェイエー長野会 特別養護老人ホーム のべやま 施設長 春原秀利